

K A K E G A W A

かけがわ 第38号

市議会
だより

平成24年11月1日

編集/発行 掛川市議会

静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1

☎0537(21)1160

<http://www.city.kakegawa.shizuoka.jp>

仁藤の大獅子

おもな内容

CONTENTS

● 決算概要	2 ページ
● 議案の審議結果	5 ページ
● 一般質問	6 ページ
● 各委員会の現状と課題	11 ページ
● 傍聴席/11月定例会の予定	12 ページ

決算特別委員会委員長報告

平成23年度決算議案は、一般会計と特別会計の2つの特別委員会を設置し、審査を行いました。

一般会計は、9月19日～20日の2日間、特別会計は、9月19日に開催され、審査の結果いずれも原案のとおり認定すべきものと決しました。また、9月28日の本会議において、両特別委員会の審査経過及び審査結果が委員長より報告されました。

一般会計決算特別委員長報告(抜粋)

この委員会で交わされた主な質疑は次のとおりです。

Qメンタルヘルス相談事業に関連して、掛川市の休職者の状況はどうか。

A掛川市の人口規模から言えば特別多い状況ではない。

Q行財政改革審議会委員の人選の推薦と、公募の状況は。

A応募の条件は市内に住所がある方なら誰でもよく、公募を行った。10名の内4名は前審議会から残って頂き、残る6名は8名の応募者の中から選考した。

Q生活保護受給者の現状は。

A平成24年4月1日現在で259人、212世帯、保護率2.24^{※1}パーミルである。ちなみに、県下の保護率は7.59パーミル、国は16.30パーミルである。

Q掛川市は平均寿命等では、非常に成績が良いが、最近、県が発表している^{※2}「お達者度」はあまり良くない。どのように分析しているか。

A「お達者度」の順位は、男子が県下7位、女子が25位であった。要介護の期間が長くなっていることが、成績不振の原因と考えている。

Q路線によっては全面舗装が必要な路線がかなりある。計画的にやらないといけないのでは。

A橋梁長寿命化及び舗装長寿命化の計画を今年策定する予定である。

特別会計決算特別委員長報告(抜粋)

この委員会で交わされた主な質疑は次のとおりです。

◎掛川市国民健康保険特別会計

Q退職被保険者の滞納金の収納率が、前年度対比で7.9%アップした。どのような収納努力をしたのか。

A法令遵守に基づき取り組んできた。市税課と納税課に分かれて、徴収部門を専門的に組織編成したことが功を奏してきたと思う。

◎掛川市介護保険特別会計

Q施設入所待機者が多い。高齢化の進展で入所希望者は更に増加の傾向にある。在宅介護を計画的に増やす支援策をどのように考えているか。

A医療面では、医療機関との連携を強化して往診や訪問看護、リハビリ施設の充実強化。介護面では24時間体制の定期巡回、配食サービス等の確立が必要と考えている。住宅改修支援策も必要となる。

◎掛川市公共下水道事業特別会計

Q長期計画での公共下水道の整備計画は、今後の財政負担にもつながり、費用対効果から見ても課題が多い。今後の事業の方向性をどのように考えているか。

A平成22、23年度に下水道計画の見直しを行った。今後も5年ごとに、国や県の動向を考慮しながら、計画を見直していく。

※1 「パーミル」とは、千分率。記号はパーセント(%)の分母に0が一つ増えた「‰」で表される。掛川市の場合は、1,000人に2.24人。

※2 「お達者度」とは、介護を受けたり病気で寝たきりになったりせず、健康に生活できる状態を「自立している(お達者である)」と県が独自に定義。65歳から要介護度2～5の認定を受けるまでの期間を市町別で算出。

平成23年度決算

病院清算や緊急地震津波対策4カ年計画スタート 将来負担に備え 健全財政を目指す

■一般会計

歳入決算額	445億 827万円
歳出決算額	427億6,148万円
歳入歳出差引額	17億4,679万円
実質収支	14億4,681万円

■特別会計

歳入決算額	230億5,927万円
歳出決算額	222億 320万円
歳入歳出差引額	8億5,607万円
実質収支	8億5,324万円

※企業会計は市議会だより8月1日号にて報告済

平成23年度 一般会計決算概要

平成23年度決算の歳入面では、地方交付税及び臨時財政対策債が、前年度から9億6,150万円減少しましたが、市税収入が3年ぶりに増加に転じ、前年度から2億7,000万円の増収となったこと等により歳入決算額のうち一般財源は、320億4,395万円で、前年度比5,423万円0.2%の増となりました。

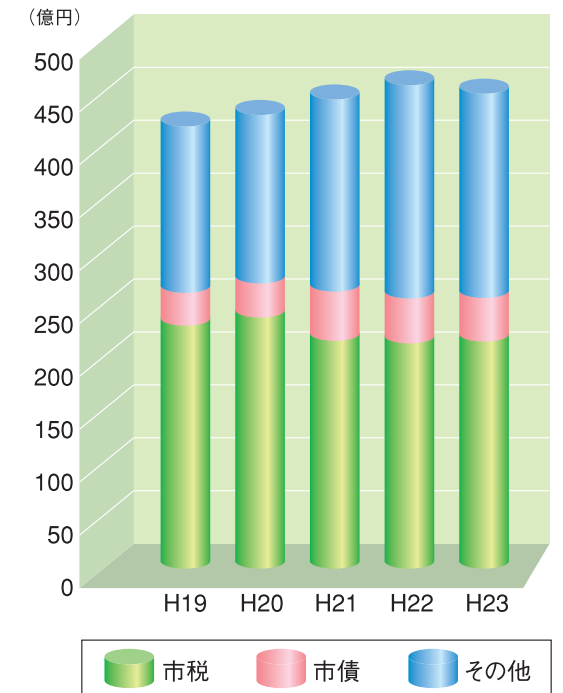
歳出面では、南北幹線道路や新病院アクセス道路の整備、小中学校の耐震対策事業、「地域健康医療支援センターふくしあ」を大東及び大須賀区域に開設、子ども医療費助成の拡充、全小中学校の太陽光発電施設導入事業の完了等、多くの財政需要と市民要望に対応しました。

■一般会計歳入構造

区分	金額・指数	前年対比
自主財源	277億円	+5億円
依存財源	168億円	-14億円
財政力指数(単年度)	0.907	+0.027
実質公債費比率	13.2	-1.1
将来負担比率	91.1	-3.0

「実質公債費比率」は前年度対比で1.1ポイント改善したが、県内順位はワースト6位からワースト5位となった。
「将来負担比率」も前年度対比で3.0ポイント改善したがワースト8位からワースト6位となった。

一般会計決算(歳入)の推移



9月定例会における議案の審議結果一覧

番号	議案番号	議案名	議決内容
1	議案第 71号	平成24年度掛川市一般会計補正予算(第2号)について	全会一致 原案可決
2	議案第 72号	平成24年度掛川市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	全会一致 原案可決
3	議案第 73号	平成24年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1号)について	全会一致 原案可決
4	議案第 74号	平成24年度掛川市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	全会一致 原案可決
5	議案第 75号	掛川市暴力団排除条例の制定について	全会一致 原案可決
6	議案第 76号	静岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	全会一致 原案可決
7	議案第 77号	市道入山瀬線築造工事第一工区変更請負契約の締結について	全会一致 原案可決
8	議案第 78号	市道入山瀬線築造工事第二工区変更請負契約の締結について	全会一致 原案可決
9	議案第 79号	市道入山瀬線築造工事第三工区変更請負契約の締結について	全会一致 原案可決
10	議案第 80号	掛川市道路線の認定について	全会一致 原案可決
11	認 第 3号	平成23年度掛川市一般会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認 定
12	認 第 4号	平成23年度掛川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認 定
13	認 第 5号	平成23年度掛川市後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認 定
14	認 第 6号	平成23年度掛川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認 定
15	認 第 7号	平成23年度掛川市公共用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認 定
16	認 第 8号	平成23年度掛川駅周辺施設管理特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認 定
17	認 第 9号	平成23年度掛川市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認 定
18	認 第 10号	平成23年度掛川市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認 定
19	認 第 11号	平成23年度掛川市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認 定
20	認 第 12号	平成23年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	賛成多数 認 定
21	認 第 13号	平成23年度上西郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認 定
22	認 第 14号	平成23年度桜木財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認 定
23	認 第 15号	平成23年度東山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認 定
24	認 第 16号	平成23年度佐束財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致 認 定
25	報告第 5号	健全化判断比率の報告について	全会一致 受 理
26	報告第 6号	掛川市簡易水道特別会計資金不足比率の報告について	全会一致 受 理
27	報告第 7号	掛川市公共下水道事業特別会計資金不足比率の報告について	全会一致 受 理
28	報告第 8号	掛川市農業集落排水事業特別会計資金不足比率の報告について	全会一致 受 理
29	報告第 9号	掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計資金不足比率の報告について	全会一致 受 理
30	議案第 7号	掛川市都市計画法条例の一部改正について	賛成少数 原案否決
31	議案第 8号	掛川市議会会議規則の一部改正について	全会一致 原案可決
32	議案第 81号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	全会一致 同 意
33	請願第 1号	消費税増税法案に関する意見書採択の請願書	賛成少数 不 採 択
34	請願第 2号	肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める請願書	全会一致 趣旨採択

議会基本条例(案)意見交換会開催状況

9月24日から26日の3日間にかけて、掛川市議会基本条例(案)に関する市民意見交換会を開催し、3日間で約100名の方にご出席いただきました。

会では、雑賀祥宣議会基本条例制定特別委員長より、条例制定の趣旨とこれまでの経過説明を行った後、担当の議員より条文案についての説明を行いました。

説明の後、出席者から「開かれた議会とはどういうものなのか」「市民との意見交換の場をもっと設けて欲しい」等、たくさんのご意見をいただきました。

委員会では、いただいたご意見を参考に検討を行い、より良い条例を作ります。



掛川市役所



大東支所

平成24年度9月 一般会計補正予算の概要と特徴

1 補正規模 6億8,207万円
2 補正後の予算額 435億6,230万円

1 災害津波関連予算は

- ① 台風4号関連災害復旧費等 **3,267万円追加**
6月の台風4号による公共施設106件分の災害復旧経費です。
- ② 津波対策事業費 **458万円増額**
市内2カ所に人工地盤方式の津波避難施設を整備するための実施設計等です。
- ③ 道路橋梁維持費 **3,171万円増額**
5月28日の大雨で道路のり面が剥離・滑落した、下西郷地内の市道の補修工事費です。

2 産業経済を活性化させる

- ① 全国お茶まつり開催委託料 **225万円増額**
11月17日、18日に開催される「全国お茶まつり」のマスコットキャラクター製作のほか、O-CHA ストリートショップ、大茶会への小中学生の特別招待などを実施し、全国イベントの充実を図る経費です。
- ② (県施行)土地改良総合整備事業費 **1,504万円増額**
県が施行する、大淵・初馬地区の土地改良総合整備事業費が増額されたことによる、県に対する市負担金の増額です。
- ③ 掛川茶PR看板設置事業補助金 **166万円追加**
全国お茶まつりの開催にあわせ、掛川茶振興協会が、掛川茶振興のためPR看板を設置することに対する補助金です。
- ④ 担い手育成総合対策事業費補助金 **1,725万円追加**
地域農業の新たな担い手を支援するため、国の「人・農地に関する施策」に呼応し、自ら独立して農業を開始する方に対して青年就農給付金(補助金)を交付するものです。

3 子どもの保健予防強化のために

- ① 個別接種事業費 **4,294万円増額**
本年4月に、不活性化ポリオワクチンが薬事承認され、9月1日から生ポリオワクチンに替わって、単独不活性化ポリオワクチン接種が導入されることに伴う経費です。

4 将来の財政需要に備えて

- ① 財政調整基金積立金 **5億円増額**
次年度以降の財政運営を考慮し、財政調整基金に5億円を積み立てます。24年度末の基金残高見込みは30億848万円です。

歳 入	
①前年度繰越金	10億7,281万円
②臨時財政対策債	1億6,200万円
③地方交付税	1億6,691万円
④国県支出金	5,457万円
⑤その他の地方債	1,420万円
⑥繰入金	△8億 300万円
⑦諸収入	1,132万円
⑧その他	326万円

歳 出	
①財政調整基金積立金	5億0,000万円
②台風災害復旧費	3,267万円
③津波対策事業費	458万円
④全国お茶まつり開催委託料	225万円
⑤個別接種事業費	4,294万円
⑥担い手育成総合対策事業費補助金	1,725万円
⑦市単街路事業費	2,000万円
⑧その他	6,238万円

一般質問 Q&A



デマンド型タクシー社会実験

掛川市として初めて導入する交通手段であり、短期間での実施による周知不足等から乗り合い率は平均一・二二人と予想より厳しい状況であったが、来年度に向けデマンド型乗合いタクシーの導入を検討していきたい。

A ある程度の傾向はつかむことができた

Q 公共交通のあり方検討委員会の答申を受けて和岡、曽我地区において「デマンド型乗合タクシー」の社会実験を二カ月間にわたり実施したが成果はいかがであったか。

デマンド型乗合タクシーについて伺う



公明党かけがわ 山本行男

墓地の建設を伺う

Q 自分たちの最後は自分たちで決めたいと考えている。樹木葬や共同墓地など新墓地建設に向けて市民ニーズにどのように応えていくのか伺う。

A 市民から意見聴取をし、市民ニーズに対応した整備を行いたい

一般墓地と共同墓地の組み合わせにより、墓地の適正基数や近年の墓地型式の動向及び整備事業費の採算性などを調査し、計画案を作成して市民ニーズに対応した整備を行いたい。

【他の質問事項】
・来年度の市長選挙について

一般質問 Q&A

任期を半年後に控えて、どうする行財政改革、出処進退は



創世会 鳥井昌彦

Q 平成二十年のリーマンショックによる二十億からの税収減、思いもよらぬ東日本の巨大地震と津波、原発事故による防災対策費、二十四年度には中東遠総合医療センターへの出費で将来負担比率は一四〇%、将来負担額は九百八十七億円ほど、強い信念と大胆な行財政改革なしでは真の希望が見えるまちづくりは完成しない。あらためて聞く、任期満了に伴い出処進退はいかが伺う。

A 議会や市民の皆様のご賛同を得て引き続き市政のかじ取りを行う上、一途一心に情熱を持って進んでいきたい

今は厳しい財政状況であるが、自立と成長をテーマに、積極的な企業誘致を図り安定財源の確保を図るとともに、特に市民との協働に力点を置き、地域内分権による新たな意思決定のあり方や、新しい公共による都市経営を推進していくことにより、真の「希望がみえるまち」が作り上げられると確



建設が進む中東遠総合医療センター

【他の質問事項】
合併以降の南部地区における今後の方針について、旧大東町で検討された学校施設検討委員会答申について、南部幼保園検討委員会答申について

信している。新病院建設、南北道の整備、地震津波対策事業など主要な事業は確実に仕上げ、これからの力を入れていかなければならない子育て支援や積極的な企業誘致による若者の雇用の場の確保など、しっかりとした戦略を推進していきたい。

社会問題となっているいじめ対策を伺う



創世会 山崎恒男

Q 市内各小中学校には、現在いじめに対処するマニュアルは整備されているのか。また、児童生徒はもとより、保護者からも学校は全面的に信頼が必要である。今社会問題のいじめについて、市長はいかに受けとめているか伺う。

A いじめはどんな理由があろうと許されない行為であると考えている

子ども達には、困ったときに相談やアドバイス等、救いの手を差し伸べられる受け皿の強化が急務であると考えている。「学校のいじめ対策マニュアル」の骨子がまとまり、研修会等を取り上げ、周知徹底を図ってきたい。

新エコポリス第三期計画について伺う

Q 満水、東山口、まちづくり協定区域内の第三期事業区域、約三十三ヘクタールの今後の方向付けについて伺う。

A 将来的な経済状況や企業の進出動向を見極めながら検討していく

具体的な開発にあたっては、農振農用地区域からの除外や農地転用、国営菊川右岸幹線の対応、環境アセスメントなどの課題解決が必要であると考



報道されたいじめ記事

教職員における事務作業の電算化が必要では



創造みらい 榎葉正樹

Q 校務の効率化を図るためには、出席簿とのリンクや学校評価の集計作業、日常的な事務処理事項である週報、月計画、年間計画、校務日誌等の電算化が必要であると考える。これにより校務の多忙化が軽減され、子ども達とゆとりを持って向き合う時間を持つことができると考える。今後の展開を伺う。

A 本年度から、「校務支援システム」の導入についての検討を進めている

システムの導入により、成績処理から指導要録作成までの一元化や、電子掲示板により情報の共有化が図られ、業務量を大きく削減することができる。今後、適切なセキュリティシステムの構築、ソフトウェアの導入等について検討を重ね、システム導入を目指していく。

【他の質問事項】
・市内小中学校施設の老朽について



休み時間に遊ぶ教員と子ども達

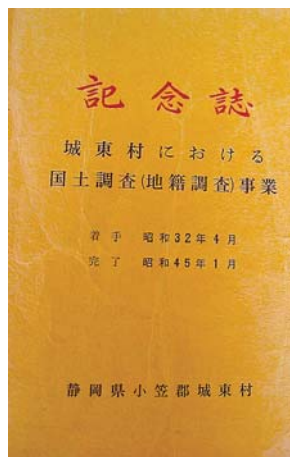




地籍調査事業の本来の目的である個人財産の保全と課税面積の基となる現況と登記面積の整合を図るためにも、あらゆる事業手法を駆使し一刻も早い不公平感の解消を図りたい。

Q 地籍調査実施前の公簿は明治時代の絵図に基づいたもの。地籍調査実施地区と未実施地区との面積差は大きい。大東「城東地区調査完了記念誌」によると、宅地で三五%の増となっている。不明確な地域と実測値に基づいた地域との差異がある。公簿での課税とはいえ、このままでは不平等なので改善策を問う。

A 一刻も早い不公平感の解消を図りたい。地籍調査事業の本来の目的である個人財産の保全と課税面積の基となる現況と登記面積の整合を図るためにも、あらゆる事業手法を駆使し一刻も早い不公平感の解消を図りたい。



記念誌: 城東村における国土調査(地籍調査)事業

不公平感正への課題 地籍調査に対する認識は



創世会 鈴木久男

Q 土地に対する税制度の矛盾解消は

A 地籍調査を早く行う努力が必要

Q 宅地の課税評価額は農地の二倍も高い。課税客体である公簿面積に不公平があるとすれば是正すべきは当然。改善方策について伺う。

A 地籍調査を早く行う努力が必要。課税地積が、登記簿地積により課税することに問題があるとは考えていないが、地籍調査を早く行う努力は必要であると考える。



肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める請願書

肺炎死者、高齢化で増加、肺炎予防が急務では



共産党掛川市議団 川瀬守弘

Q 肺炎は、日本人の死亡原因の第三位(厚生省人口動態統計)。肺炎による全死亡者数の九五%が六十五歳以上。肺炎球菌ワクチンは、一度接種すれば五年以上効果が有り「肺炎になっても軽症で済む」「抗生物質が効きやすい」と言われる。厚労省の予防接種部会報告は、「高齢者に対して接種を促進していくことが望ましい」と評価。健康予防と医療費削減をめざす公費助成について伺う。

A 高齢者施策全体の優先度や個人負担の額なども含め、今後検討する。肺炎球菌ワクチンは、重症化防止など個人への予防効果が高く国が定期化を検討している予防接種の一つである。ワクチンの効果については承知しており、公費助成については、今後検討していく。

A 高齢者施策全体の優先度や個人負担の額なども含め、今後検討する。

【他の質問事項】
・原発問題について
・南海トラフ巨大地震による津波、浸水域及び被害想定について
・住宅リフォーム助成制度の創設について

巨大地震による津波高などの想定公表に対する対応は



新政会 水野 薫

Q 今回の想定は、東日本大震災より得られた知見をもとに最大級の地震津波の発生を前提として、最大震度七とされている。道路・橋梁・上下水道・公共施設や住宅等の耐震は十分か。また津波高は、十二・二mと発表されているが避難施設等の対応はどのようか。また津波高と浸水域を考えると、砂丘と防災林の役割が大きい。砂防事業の強化と海岸防災林の復活が急務と思うが見解を伺う。

A 計画的に整備を進めたい

耐震化対策について、幹線道路は設計時に考慮されている。既設橋は、平成二十五年より耐震調査を実施、水道施設と公共施設については計画的に整備を進めていく。本年度建設予定の津波避難タワー(人工地盤)



建設予定の津波避難タワー(人工地盤)

【他の質問事項】
・産業の活性化と雇用について

葛布産業の現状と課題について伺う



創造みらい 柴原 通泰

Q 掛川市の伝統的特産品である葛布の伝統技法を守り存続させると共に文化的価値がある資機材の展示保存等「竹の丸」を活用していく考えがあるか伺う。

A 認可外保育所の現状と課題について伺う

Q 「竹の丸」は、建築物や庭園の歴史的・文化的価値を継承しているが、市民や観光客に葛布の魅力やPRする場所としても機能している。今後も、多くの方々に葛布を含め伝統産業について理解を深める事業を行っていききたい。

A 認可外保育所の現状と課題について伺う



川の中で葛の表皮と芯を取り除いている作業

補助金の交付申請時や完了報告時等に、園訪問を実施し現状把握に努めている。雇用や経営の不安定さ等の課題があり、全国的な少子化傾向が続く中、入園希望者が減少し運営が困難となる可能性があるが、市としてどんな協力や支援ができるか考えていきたい。

各常任委員会の現状と課題

総務委員会

委員長 松井俊一

厳しい財政状況の中、 選択と集中で

リーマンショックによる景気後退により、大変厳しい財政状況の中にありますが、積極的な市政運営に取り組んできました。その結果、財政の硬直化が長期化している状況です。

新病院建設を初め、南北幹線道路の整備、地震津波対策、太陽光発電の普及促進、また企業誘致による若者の雇用の確保が課題にもなっています。さらに、少子高齢化の進展による税収の減、社会保障費の増大や現病院の清算（財）開発公社の解散など多額の財政需要が山積しています。「選択と集中」により、市政運営の根幹となる行財政改革の積極的な推進が求められています。

当委員会では、今後とも安定財源の確保を図るとともに市民との協働による「新しい公共」による都市機能の推進し、希望が見えるまち、だれもが住みたくなるまち掛川の実現に向け取り組みます。



建設中の南北道路 市道入山瀬線

環境産業委員会

委員長 鈴木正治

明るい未来、 元気なまち掛川

今年八月に行われた全国茶品評会では、深蒸し煎茶の部で八年連続の産地賞を受賞することができました。このブランドを余すことなく活用し、秋に開催される「全国お茶まつり静岡大会in掛川」では全市をあげてPRし、市経済の活性化につながる取り組みをしています。さらに、新東名森掛川インターチェンジが本年四月にオープンし、インターチェンジ周辺の土地利用や中山間地域の振興を図るため、検討を始めております。

環境政策においては、自然エネルギーの活用も重要施策のひとつであり、当市では平成二十八年年度までに市内戸建て住宅の二割に太陽光パネルの設置を目標として、民間の活力を生かし取り組んでおります。

当委員会では、大変厳しい財政状況の中、重要施策でもある南北幹線道路整備をはじめ東遠地区聖苑組合の火葬場建設工事等、選択と集中により着実に進め、さらに交流型観光を推進して地域活性化に努めて参ります。



お茶のまち掛川
イメージキャラクター
「茶のみやきんじろう」

文教厚生委員会

委員長 豊田勝義

「市民の豊かさ」は 医療・福祉・教育の充実

健康・医療・福祉・教育と民生全般にわたる所管事項の取り組みのうち、新病院は年内に本体工事が完了、運営関係業務もスケジュールどおり進捗しています。最大の課題である医師・看護師確保については目途がつき、来年五月一日の開院を期待するところです。

健康医療日本一を目指して開所した「ふくしあ」もワンストップサービスの拠点として、認知も高まり市民に喜ばれています。

東日本大震災を教訓に東海地震に対する小中学校の耐震・津波対策も手がけています。そして今、いじめ問題がクローズアップされており、問題行動をしっかりと把握しなければいけません。掛川市は「未然防止に努める」「全庁体制で解決に取り組み、いじめ対策に全力を挙げよう」との姿勢で臨んでいます。

当委員会でも重要な課題として取り組んでいきます。



建設中の「中東遠総合医療センター」



生活実態調査なしの差し押さえは余りに乱暴では



共産党掛川市議団
柴田正美

Q 国税徴収法で規定された、差し押さえ財産（障害者年金）の差し押さえをおこなったが、法外援助で全額を返した。預金の原資が全部差し押さえ財産であり、誤りを認め課税を撤回すべきでは。

A 預金債権に転化された差し押さえ財産ではなくなり、差し押さえ財産として扱われることになると考えている。



差し押さえ撤回求め申し入れ

で、受給者の金融機関への当該預金債権に転化され、一般財産となり、差し押さえ財産としての属性は承継されないという判断である。

地籍調査完了地域に配慮が必要では

Q 地籍調査実施で、縄延びが二十数%ということだが、調査結果を精査し、地籍調査完了地域に若干配慮することが、不公平な課税を三十年続けることの現実的な解決の道ではないか、市長の見解を伺う。

A 課税等の研究をしながら不公平感の解消に努めたい。

課税の問題等々、税制度については、国が決めた法ルール等々があるが研究をしていきたい。

【他の質問事項】
原発と防災対策について

団塊の世代の高齢化に伴う高齢者福祉について伺う



誠和会
鈴木正治

Q 団塊の世代が高齢化の時代を迎え後期高齢者となる頃の人口・高齢化率、その時どの程度施設利用が可能か伺う。今後、在宅介護が重要となるが市の政策について伺う。

A 「地域包括ケア」の充実が重要であると考える。

十三年度の二〇二五年には、六五歳以上の方は、三万五千四百二十六人、高齢化率は三〇・〇%。今後、施設整備をしない場合には、約千二百人の不足が見込まれる。今後「ふくしあ」機能も高め、できるだけ自立した高齢者を増やすとともに、在宅で安心して介護できるような仕組みをつくる必要があると考える。

橋梁の長寿命化と掛川市役所の長寿命化について伺う

Q 昭和三十年代の高度経済成長期に建設された橋梁が老朽化し修理・補修



長寿命化が計画されている川久保橋(下土方地区)

定期的な点検実施、計画的な修繕計画の策定、予防的な修繕を行うことによりコストの削減を図り、橋梁の安全性・信頼性を確保していきたい。庁舎も橋梁の長寿命化と同様、予防保全型による修繕や改修を計画的に行いたい。

【他の質問事項】
国際交流について

A 安全安心を目指し来年度からにも進めていきたい。

議 会 日 誌

【7月】

- 10日～12日
 - 総務常任委員会行政視察
(岩手県大槌町、山田町、宮城県名取市)
 - 環境産業常任委員会行政視察
(福岡県糸島市、鹿児島県南九州市、指宿市)
 - 文教厚生常任委員会行政視察
(宮城県気仙沼市、登米市、仙台市)
- 19日 ○議会基本条例制定特別委員会
正副委員長視察(富士市)
- 20日 ○市議会全員協議会
- 24日～25日
 - 議会だより編集特別委員会行政視察
(滋賀県大津市、愛知県豊田市)
- 26日 ○議会基本条例制定特別委員会
○東遠議員交流フォーラム

【8月】

- 2日～3日
 - 議員東京研修
- 6日 ○総務委員会協議会
○静岡県市町議会議員研修会
- 9日 ○東遠広域施設組合議会
- 13日 ○掛川市・菊川市衛生施設組合議会
- 14日 ○東遠地区聖苑組合議会
- 16日 ○自治基本条例検討特別委員会
- 20日 ○小笠老人ホーム施設組合議会
- 21日 ○市議会全員協議会
○議会基本条例制定特別委員会
- 22日 ○東遠工業用水道企業団議会
- 27日 ○議会運営委員会
○議員懇談会
○新病院建設地域医療対策特別委員会
- 29日 ○自治基本条例検討特別委員会・意見交換会
○掛川市・袋井市新病院建設事務組合議会

【9月】

- 3日～28日
 - 掛川市議会第4回(9月)定例会
- 6日 ○議会だより編集特別委員会
- 11日 ○議会運営委員会
- 13日 ○議会基本条例制定特別委員会
- 18日 ○議会基本条例制定特別委員会
- 24日 ○議会基本条例制定市民意見交換会
- 25日 ○議会だより編集特別委員会
○議会基本条例制定市民意見交換会
- 26日 ○自治基本条例検討特別委員会
○議会基本条例制定市民意見交換会

【10月】

- 2日 ○三遠南信地域市町村議会議長協議会
- 9日 ○議会だより編集特別委員会

11月定例会の予定

【11月】

- 28日 本会議
(議案の提案説明)

【12月】

- 6日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議
(議案質疑、委員会付託)
常任委員会
- 13日 常任委員会協議会
- 21日 本会議
(委員長報告、質疑、
討論、採決)

● 傍聴席 ●

私の市議会傍聴のきっかけは、元々傍聴をしたいと考えていたところ、地元議員さんから声が掛かり、それ以来三回ほど傍聴させて頂いております。

最初の印象としては、厳粛な雰囲気の中で開催されており、議会とはこのようなところかと受け止めました。当時は、総括質問の頃でした。議員の総括質問に対し、市長答弁がされるのですが、テーマ毎の質問の節目が薄れ延々と話されている感があり、答弁もその繰り返しで聞くので精一杯でした。再質問が質問者に限り、他の議員

は聞いているのみのスタンスと受け止めました。お互いの意見が出され議論され、その意見が尊重されるという場面はありませんでした。今後この点の改善を期待します。その後、一問一答方式が取り入れられた議会を傍聴しました。総括質問方式に比べ、質問も答弁も各テーマの区切りが明確になり、わかりやすい方式で進歩したと捉えました。

さらに現在市議会基本条例が制定中であり、議会がより市民に身近なものとなり、市民の意見がより吸い上げられることを期待しています。

山崎正巳(桜木地区)

編集後記

一般質問の質問方式はどうでしたかと傍聴者に聞いてみました。「一問一答方式は、論点が分かりやすくとても良かった」との声を多くの方にいただき、もっと分かりやすい議会にして行こうとの改革の一步が芽生えつつあることを感じ嬉しく思いました。

この議会だよりの編集にあたっては、市民の皆様から「議会活動がよりわかりやすくなった」との声をいただけるように、編集委員一同頑張っております。

議会だより
編集特別委員会

副委員長 山本行男

